

『不整脈の検査と治療』

吉良内科循環器クリニック

院長 吉良 哲也



こんにちは。今回は動悸・不整脈の自己診断のお話をさせて頂きました。今回は不整脈の検査・治療のお話を致します。

動悸や脈の乱れを自覚し、病院を受診した際には心電図・胸部レントゲン・採血といった検査が行われます。しかし受診時には不整脈が記録されないことも多く、24時間心電図検査が正確な診断には有用です。これは心電図の機械をつけたまま帰宅し普段通りの生活をしてもらい、翌日に心電図を外し1日を通しての心臓の様子を調べる検査です。また不整脈の原因となる心臓病が潜んでいないか確認するために心臓超音波検査（エコー検査）を行うこともあります。不整脈は明らかな原因がなく起こることも多いのですが、心臓病や内科疾患が原因となっていることもあり注意が必要です。またストレスや睡眠不足、喫煙、暴飲といった生活態度も不整脈を悪化させる因子となるので注意しましょう。

不整脈にはいくつも種類があり、①脈が速くなる、②脈が遅くなる、③脈が不規則になる、④脈が突然抜けるといったタイプがあります。不整脈の種類や重症度、また患者さんの年齢・持病により治療法も変わってきます。治療を必要としないもの、内服や注射の薬で治療するものもあれば、カテーテルアブレーションという心臓内の電気治療や、ペースメーカーの植え込み手術が必要になる場合もあります。中には突然死や脳卒中の原因となる危険な不整脈もありますので、動悸や脈の乱れがある場合は安易な自己判断をされずに、かかりつけ医や専門医を受診し早期の診断・治療をお勧めします。特に気を失ったり目の前が暗くなる場合や、強い呼吸困難、血圧低下を伴うものは重篤な不整脈の可能性が高く、すぐに医療機関を受診して下さい。

吉良内科循環器科クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000